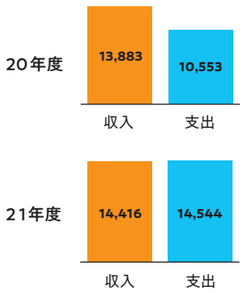
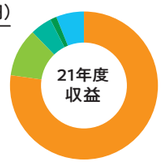
11 会計報告

収支推移（千円）



収支内訳（千円）



- 哲学対話の場づくり事業（11,139）72.27%
- 哲学プラクティスに関する学びの場づくり事業（1,551）10.76%
- 哲学プラクティスに関する資料及び教材開発事業（665）4.61%
- 会費収入（205）1.42%
- その他収益（855）5.93%

- 哲学対話の場づくり事業（9,135）62.81%
- 哲学プラクティスに関する学びの場づくり事業（1,236）8.50%
- 哲学プラクティスに関する人のネットワーク形成事業（22）0.15%
- 哲学プラクティスに関する資料及び教材開発事業（471）3.24%
- 管理部門（3,679）25.30%

団体概要

こども哲学　おとな哲学
アーダコーダ

正式名称　特定非営利活動法人 こども哲学・おとな哲学 アーダコーダ
英 語 名　Philosophical Practice ardacoda
所 在 地　〒251-0038 神奈川県藤沢市鵠沼松が岡4丁目6番18号2F
代表理事　角田 將太郎
設　　立　2014年6月

特定非営利活動法人 こども哲学・おとな哲学 アーダコーダは、哲学対話を社会の中で実践的に活用するためのスキルやプログラムを提供するNPO法人です。アーダコーダの哲学対話は、幼稚園に通うこどもたちから年配の方まで対象年齢を問いません。毎日のくらしの中にある疑問や不思議のタネについて、あーだこーだと考えを交換し、お互いが時間をかけて考えを深めることができる時間を提供します。

代表メッセージ

代表理事　角田 將太郎

大学で感じた哲学することのおもしろさと、難解で役に立たないものという哲学への世間的なイメージのギャップに違和感を感じ、哲学対話の実践を始める。東京大学教養学部卒業後、NPO法人こども哲学・おとな哲学 アーダコーダ事務局を務め、2019年に代表理事に就任。学校や企業での授業や研修を中心に、美術館や自治体など様々な場で哲学対話のファシリテーターを務める。

2021年度はアーダコーダが関わる学校の数が増えただけでなく、1つの学校に対しより継続的に関わる機会が増えました。子どもたちや先生たちの変化を広く長く見れるようになり、哲学対話によって学校全体が探求の共同体へと変わっていくことを改めて確信できました。また、今後は社会状況の変化に伴い、イベントやワークショップとしての哲学対話の機会も再び増えていくだろうと考えています。広がり続ける哲学対話への期待に応えるためにも、2022年度は哲学プラクティショナーの育成や支援に力を入れていきます。今後も引き続きアーダコーダの活動への応援をよろしくお願いします！

特定非営利活動法人
こども哲学おとな哲学 アーダコーダ

MAIL　info@ardacoda.com
WEB　http://ardacoda.com

賛助会員募集

アーダコーダでは、小さな活動を積み重ねていくために、ご支援をお願いしています。会員特典として、ご希望があれば、アーダコーダfacebookページにて、賛助会員が携わる「哲学対話」に関するイベント情報を掲載いたします。入会方法など詳しくはこちらをご覧ください。

http://ardacoda.com/donation/

ANNUAL REPORT 2021

2021年度
年次報告書

こども哲学　おとな哲学
アーダコーダ

哲学対話、こども哲学、哲学カフェの場をつくる

1 学校での「哲学対話」に力を入れて取り組みました

小学校、中学校、高校などで「哲学対話」を実施しました。１年間にわたる継続的、定期的な取り組みも増え、生徒たちの変化を実感しています。また授業に限らず、寮生プログラムや、教員研修などでも実施。多様な形態で学校生活における「哲学対話」の機会をつくりました。

武蔵野大学高等学校

藤沢翔陵高等学校

横須賀学院小学校

2021年度に実施した学校

計10校

- 足利清風高等学校（栃木・県立）
- 坂出第一高等学校（香川・私立）
- 中津北高等学校（大分・県立）
- 成田国際高等学校（千葉・県立）
- 藤沢翔陵高等学校（神奈川・私立）
- 武蔵野大学高等学校（東京・私立）
- 武蔵野大学附属千代田高等学院（東京・私立）
- 山手学院中学校・高等学校（神奈川・私立）
- 横須賀学院小学校（神奈川・私立）
- 麗澤瑞浪中学・高等学校（岐阜・私立）

2 さまざまなシーンでのこども哲学、哲学カフェ、哲学対話を実施しました

2014年の設立以来続けている、進行役、講師の派遣。2021年度も多くの依頼をいただきました。また主催事業である「こども哲学教室ソフィー」は３年目となりました。

進行役、講師の派遣 のべ約64回

世田谷文学館
オンラインで計２回実施

三鷹市生涯学習センター
会場にて２日間の連続講座を実施

こども哲学教室ソフィー 柏、湘南
毎月２回、未就学児／小学校低学年の２クラスを設け実施

ほか

3 10代のための哲学対話部

2021年度スタート。インターン生が中心となり、企画運営をしています。

オンラインにて 計6回実施

Zoom での哲学対話部

参加者の感想

上手く言語化ができないですが、遊びに行って楽しかったというのとは良い意味で全く違う楽しさでした。

哲学プラクティスに関する学びの場をつくる

4 「こども哲学ファシリテーター養成講座（初級編）」を３回開催しました

2020年よりオンラインにて実施しています。
毎回、募集開始直後に満員になる人気講座となりました。

2021年度 計3回開催

修了生年間（のべ人数） 45人ほど

参加者の感想

- やはり、実際にやってみることが大事だなと感じました。実践の時間がたくさんあり、とてもよかったです！
- アーダコーダ講師のみなさんそれぞれの進め方や気をつけていることを聞け、とても参考になりました！

5 オンラインプログラムの充実

哲学プラクティスあれこれゆるゆるトーク

2020年６月より毎月1回オンラインにて開催。2021年は右記のようなテーマで実施しました。

計10回 参加者数130人ほど

”学生のための哲学cafeありとぷら”倉田さんと考える－なぜ私たちは哲学対話を続けるの？（ゲスト：倉田英さん）

幼児との哲学対話ってどうやるの？－おへそグループ吉村さん、諸岡さんと考える（ゲスト：吉村直記さん、諸岡琴美さん）

おへそこども園 Zoom スライド画面

パーソナルプロジェクト
パーソナル哲学カフェ、パーソナルこども哲学カフェ、ファシリテーション相談窓口

探求のパートナーが、お申込者の「問い」やファシリテーションに関する「相談ごと」について一緒にゆっくりじっくり考える１対１のプログラム。リピーターも増えてきました。

計19回開催

参加者の感想

パーソナルこども哲学カフェ

娘はじっくりと話を聞いてもらえたことが嬉しかったようです。パーソナルならではですね！

ファシリテーション相談窓口

自分の中のモヤモヤが言語化された。新しい方向性を探すことができた。新たな繋がりを得ることができた。

6 THEATRE for ALL ファシリテータースクール / てつがくタイム

株式会社precogが運営するアクセシビリティ対応したオンライン劇場THEATRE for ALL（https://theatreforall.net/）と協働し、アートを介した、インクルーシブな対話の場のつくり方やアクセシビリティについて考えるファシリテータースクールを開講。THEATRE for ALLのファシリテーション「正解のない問いをめぐって、さまざまな人が安心して対話・創作に参加できる場をつくる技術」を共に実験しながら体得する学びの場を提供しました。
また、「てつがくタイム～モヤモヤを楽しむ対話の場～」も10回ほど実施。THEATRE for ALLで配信されている、さまざまな作品を入り口にてつがくする時間を楽しみました。

画像提供：株式会社 precog

7 ビジネス哲学対話

さまざまな企業からご依頼をいただき、ビジネスシーンでの哲学対話の機会を提供しました。コロナ禍となり、コミュニケーションに課題を抱える企業も多いなか、哲学対話への注目が高まっています。

哲学プラクティスに関する人のネットワークをつくる

8 ファシリテーター交流会を２回開催

講座修了生の交流会をオンラインにて開催。「こういう機会を待っていた」「刺激をもらった」などと参加者から好評いただきました。

9 哲学プラクティス連絡会大会にてワークショップを実施

2021年９月４日に開催された第７回大会に応募、参加。インターン生が中心となり、ワークショップ「みんなで考えよう未来の哲プラ相談会」を企画実施しました。

哲学プラクティスに関する資料および教材をつくる

10 『こども哲学図鑑』出版、『こども哲学ハンドブック』増刷

好評につき第３刷へ

『こども哲学図鑑』
児童書の専門出版社あかね書房より刊行。第一線で哲学の研究、実践をしている方々を執筆陣に迎え、こどもも大人も楽しめる内容となりました。
河野哲也監修、NPO法人アーダコーダ編著　2022年１月発行　あかね書房

『こども哲学ハンドブック 自由に考え、自由に話す場のつくり方』
2019年に出版。近年「こども哲学」への注目度が高まるに伴い、読み手を増やしています。
NPO法人アーダコーダ著
2019年８月発行　アルパカ